

公益財団法人 庭野平和財団

平成 24 年度 事業報告

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

1. 事業報告

A. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究を推進する事業

1. 活動に関する社会調査・資料収集事業

宗教組織および市民組織が行う平和のための活動に関する社会調査・資料収集を行いその結果を公表する。主たる目的は、それぞれの組織関係者の意識向上をはかることで、それぞれの組織活動の質的向上を目指し、宗教的精神にもとづく平和のための活動に資する。

(1) 第二回社会調査「宗教団体の社会貢献活動に関する調査」の実施

a. 事務局内部で、第一回社会調査(2008 年 10 月実施)の結果に関する検討・研究を行い、第二回社会調査のための質問項目案を作成した。特に、今回の調査には、2011 年 3 月 11 日の東日本大震災の発生直後から、宗教者が取り組んできた支援活動に対する社会の認知、評価を測る項目も盛り込んだ。一本來ならば、第二回調査は、第一回調査から 5 年後の 2013 年に実施の予定であったが、大震災時における宗教者の支援活動等に関する社会の記憶が曖昧になる前に実施すべきと考え、2012 年 4 月に中央調査社により、全国男女 1236 名を対象に宗教団体の社会貢献活動に対する認知と評価について上記調査を実施し、2013 年 03 月に報告書を発刊した。

(2) 第二回社会調査の結果の検討・研究のための学習会の開催(東京、京都)

a. 7 月 12 日、東京都新宿区の施設で、基調発題：國學院大學教授の石井研士氏、パネルディスカッションを、コーディネーター：石井教授、パネリスト：茅野俊幸氏（シャンティ国際ボランティア会 専務理事）、根本昌廣氏（立正

佼成会 外務部長) で行なった。参加者は、研究者、教団関係者を中心とした約 50 名であった。

b. 7 月 31 日、京都市左京区の施設で、基調発題：國學院大教授石井研士、パネルディスカッションを、コーディネーター：石井教授、パネリスト：黒崎浩行 (國學院大學 准教授)、野口陽一 (庭野平和財団 専務理事) で行なった。参加者は、研究者、教団関係者を中心とした約 30 名であった。

(3) 情報・資料収集

a. 九条アジア宗教者会議の情報収集

- i. 期 間：4 月の定例会議が開催され、2011 年度の事業ならびに会計報告がなされた。席上、日本キリスト教協議会より「原子力に関する宗教者国際会議」の開催について協力の要請がなされ、全員でこれを了承し、準備会議を設立した。会議の概要と資金助成の依頼先等が検討された。
- ii. 開催地：会議内容の変化に伴い、東京から、福島県相馬市 (現地学習会)、福島県会津若松市 (現地学習会および国際会議) と変更になった。
- iii. 概 要：「C. 宗教的精神にもとづく平和のための活動及び研究に対する助成」の 2. (2)「臨時助成」の項を参照。

b. 日韓宗教者フォーラム主催、第 2 回訪韓プログラムへの参加、情報収集

- i. 期 間： 2012 年 10 月 26 日-10 月 28 日

- ii. 開催地： 韓国ソウル

- iii. 概 要： 2012 年 5 月に韓国の先進的なエコ・シティを訪問し、原子力発電・エネルギー問題について日本と韓国の宗教者が議論する予定であったが、韓国側の都合延期され、再

度計画されたが、責任者の体調不良等の関係で再び延期となる。

その後、2013年3月、韓日両国の代表者による会議にて、新たなプログラムが作成され、2013年度から、「III. 宗教的精神にもとづく平和のための活動及び研究に対する助成」の「2. 非公募による助成事業(NPFプログラム)」にて「東アジア人材育成プログラム」として検討・実施される予定。

2. 普及啓発活動

公益目的事業（庭野平和賞の事業と助成事業を含む）の成果を、宗教組織及び市民組織の関係者を主たる対象に、セミナー、シンポジウムの開催による普及啓発を図る。宗教組織および市民組織の人材育成、専門知識の取得及び組織の活動の充実を目指す。

（1）GNHと地元学に関する現地学習、シンポジウムの開催準備

- a. 「葛巻町現地学習会」準備のための現地訪問調査
 - i. テーマ：「GNHとエネルギー・環境問題」（仮称）
 - ii. 実施予定：2013年6月末～7月初旬に実施する。
 - iii. 開催地：岩手県葛巻町
 - iv. 参加予定人数：20名程度。（公募する。）
 - v. 概要：2012年6月5-7日、葛巻町役場および廣瀬稔也氏（東アジア環境情報発伝所代表）の協力を得て、今まで継続してきたGNHと地元学の学習の一環として、エネルギー問題、とりわけ地域社会におけるエネルギーの自給について学習するための現地学習プログラムを作るために野口専務理事、高谷事務局長が現地調査を実施した。本調査結果に基づいて2013年度の実施するプログラム（案）を作成した。

b. 第5回GNHシンポジウム開催

- i. 開催日：2012年10月19日（金）
- ii. 会場：中野サンプラザ（東京都中野区）
- iii. 概要：基調講演は立教大学教授で哲学者の内山節氏が、「日本の農村から未来を想像する - 私たちの“生きる場”づくり」をテーマに行い、パネルディスカッションをコーディネーター草郷孝好氏（関西大学社会学部教授）、内山教授、廣瀬稔也氏（NPO法人東アジア環境情報発伝所代表理事）、槇ひさ恵氏（NPO法人明るい社会づくり運動理事長）で行なった。参加者は、教団関係者、NGO関係者など約80名。—シンポジウムの内容については、ホームページに掲載した。

（2）京都シンポジウム（一般公開）

- i. 開催日：2012年5月12日（土）午後1時～4時
- ii. 会場：京都市立ひと・まち交流館（京都市内）
- iii. 概要：第29回庭野平和賞受賞者、グアテマラ共和国のロサリーナ・トゥユク・ベラスケス氏による基調講演後、パネルディスカッションをコーディネーター山本俊正氏（関西学院大学教授）、ベラスケス氏、伊藤照子氏（メリノール女子修道会）、古谷桂信（フォトジャーナリスト）で行なった。参加者は、教団関係者、宗教者など約80名。—シンポジウムの内容については、ホームページに掲載予定。

（3）「東アジア平和フォーラム」研究会の開催

- i. 開催日：2012年4月21-22日
- ii. 会場：大韓YMCA（東京都千代田区）
- iii. 参加者：（韓国側）Dr. Oh Jaesik, Prof. Yi Kigo, Dr. Park Soonsung, Dr. Lee Heonseok、（日本側）坂本義和名誉教授（東京大学）、岡本厚氏（岩波書店）、川崎哲氏（ピースボート）、廣瀬稔也氏（東アジア環境情報発伝所）、野口、高谷。
- iv. 概要：二つのサブテーマ（「3.11原発事故から的一年」、「朝鮮半島

と東アジア2012とその後」)について日本韓国双方から報告がなされ、その後「東アジアをめぐる知的活動者の役割と戦略」についてブレーンストーミングを行なった。その結果、次世代の日韓の知的活動者を育成の重要性が確認されるとともに、「東アジア人材育成プログラム」の設立に向け、検討に入ることが確認された。

(4) 現代世界の危機における宗教と宗教研究の役割」(NPF プログラムで継続助成-2009年終了)の研究成果発表

寄稿予定原稿の遅れが目立ち、2012年度中には、終了せず。2013年10月に上智大学出版会より発刊予定。

(5) BNN(佛教者NGOネットワーク)活動の促進

3.11 東日本大震災の主として寺院関係者の体験を踏まえ、「寺院と地域の絆を高める『保存版』備災ガイドブック」を作成し、2013年4月に発刊する。全日本佛教会を中心として、佛教系宗派・教団を始め各教区、寺院に配布する。また、佛教以外の宗派・教団にも希望により、別途配布される予定。

(6) ウェブサイト、E-mail等を利用した情報公開

ウェブサイトに掲載することの可能な人間が限られている関係で、多少掲載が遅れることはあったが、概ね重要な事業の結果を掲載することが出来た。

B. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究に功績のある者に対する褒賞事業

宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究を通して、人びとの幸福と平和な社会づくり、ひいては世界平和の推進に顕著な功績をあげた個人、または団体を表彰し、その業績を国内外のメディアを通じて世界的に広報することに

より、同様に人びとの幸福と平和な社会づくり、ひいては世界平和に貢献している人びとや関係者を激励し、真の人間性への信頼を喚起し、同様の活動に従事する人びとが多く輩出する事を目的としている。

（1）庭野平和賞

a. 第 29 回贈呈式・記念講演・レセプション

- i. 日 時：平成 24 年 5 月 10 日（木）午前 10 時 30 分～午後 1 時 30 分
- ii. 会 場：国際文化会館
- iii. 概 要：第 29 回庭野平和賞贈呈、祝辞、受賞者による記念講演、レセプション。
- iv. 参加者：ロサリーナ・トゥユク・ベラスケス氏（第 29 回庭野平和賞受賞者）、財団関係者、宗教関係者、学術経験者、市民活動関係者、マスコミ他、約 150 名参加。

b. 関連行事

- i. 5 月 11 日（金）-庭野平和賞執行委員会、指名委員会、理事長対談
- ii. 5 月 12 日（土）-京都シンポジウム（前述）
- iii. 5 月 15 日（火）-立正佼成会本部訪問

（2）庭野平和賞委員会

平成 24 年 2 月 15 日に第 30 回庭野平和賞候補者推薦の推薦書受付を締め切った。全世界 125 カ国の 620 人の推薦人に推薦を依頼した。平成 24 年度に入り、第 30 回の平和賞受賞者の選考作業を開始した。まず、5 月 11 日に平和賞執行委員会を開催し、候補者名簿の確認と選考プロセスの確認を行った。その後、2 度のスクリーニングを経て、10 月 23 日に庭野平和賞委員会を開催し、第 30 回庭野平和賞受賞者にノルウェーのグナール・スタルセット師（ノルウェー国教会オスロ名誉監督）を選んだ。そして、平成 25 年 2 月 27 日（水）、京都市およびヴァチカン市国において記者発表を行なった。その後、第 30 回庭野平和賞贈呈式と京都シンポジウムの日程と場所が決定した。（贈呈式-平成 25 年 5 月 16 日（木）国際文化会館、京都シンポジウム-5 月 18 日（土）京都市国際交流会館）また、5 月 15 日（水）に立正佼成会本部を訪問することが決定した。

C. 宗教的精神にもとづく平和のための活動及び研究に対する助成事業

人びとの幸福と平和な社会づくり、ひいては世界平和の推進を目指した宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究へ資金助成を行う。本事業は 1. 「公募による助成」、2. 「非公募による助成」、3. 「指定寄付による助成」から構成される。

1. 公募による助成

平成 24 年度前期は平成 23 年 6 月 18 日（月）に公募助成小委員会を開催し、前期申請件数 78 件の中から 13 件を採択。前期助成総額は 5,000,000 円。後期は平成 23 年 10 月 2 日（火）に公募助成小委員会を開催し、後期申請件数 58 件の中から 12 件を採択。後期助成総額は 5,000,000 円であった。

2. 非公募による助成

（1）NPF プログラム

平成 24 年度は以下の事業を助成した。

- 申請事業：「地域の“縁”と NGO におけるファンドレイジング」（資料参照）
申請団体：国際協力 NGO センター
助成額：3,000,000 円

また、NPF プログラム助成小委員会は、平成 24 年 5 月 22 日、同 9 月 18 日、同 11 月 27 日、平成 25 年 1 月 15 日に開催された。

（2）臨時助成

以下を事務局起案、NPF プログラム助成委員会による審議の後、理事長が

決裁し、臨時助成を行った。

・申請事業：原子力に関する宗教者国際会議（資料参照）

申請団体：原子力に関する宗教者国際会議準備会

助成額：800,000円

3. 指定寄付による助成 - 現在は“南アジアプログラム”を実施 -

(南アジアプログラム)

平成24年度は、以下の事業を実施した。概要は以下の通り。

(1) 一食スタディツアー

i. 日時：平成24年10月19日～30日

ii. 訪問先：バングラデシュ国内の支援先プロジェクトと関係団体を訪問

iii. 参加者：立正佼成会会員他12名

(2) モニタリングとプロジェクト評価

助成中のプロジェクトのモニタリングと助成終了プロジェクトの評価活動を実施

2. 庶務の概要

平成 24 年度の庶務の概要につき、以下のとおり報告する。

I. 総務

1. 法務に関する業務

(1) 内閣府との連絡、交渉及び登記事務他

- ・平成 24 年 6 月 29 日 平成 23 年度事業報告書等の提出 (内閣府)
- ・平成 24 年 8 月 8 日 評議員変更登記 (庭野浩士氏の辞任及び中村憲一郎氏の就任) (法務局)
上記事実の報告書提出 (内閣府)
- ・平成 24 年 8 月 21 日 理事の変更及び代表理事、監事の重任登記 (庭野浩士の就任とその他の理事、監事の重任) (法務局)
- ・平成 24 年 8 月 22 日 上記事実の報告書提出 (内閣府)
- ・平成 25 年 3 月 28 日 平成 24 年度事業計画書等の提出 (内閣府)

2. 会議に関する業務

理事会、評議員会、監査等の開催状況は次の通り。

(1) 理事会

第8回理事会 (平成24年6月11日)

- | | |
|-------|--|
| 第1号議案 | 「平成23年度 事業報告及び決算」の件 |
| 第2号議案 | 資産運用基本方針について |
| 第3号議案 | 「第 6 回評議員会開催」の件 |
| 報告事項 | 1. 庭野評議員の辞任と後任評議員について
2. 6月25日開催の役員懇談会、第9回理事会について
3. その他 |

第9回理事会（平成24年6月25日）

第1号議案 「代表理事（理事長）及び業務執行理事（専務理事）選定」の件

報告事項 1. 評議員会決議事項：「財団法人庭野平和財団の平成23年度事業報告及び決算」の件
2. 評議員会決議事項：「評議員1名選任」の件
3. 評議員会決議事項：「理事選任」の件
4. 評議員会決議事項：「監事選任」の件

第10回理事会（平成25年3月11日）

第1号議案「平成25年度事業計画（案）及び予算（案）」の件

第2号議案「ポートフォリオ運用の解約と定期預金の一部解約及び基本財産への繰り入れ」の件

第3号議案「第7回評議員会開催」の件

報告事項 1. 平成24年度の事業経過報告・代表理事の職務執行報告について
2. 平成24年度収支決算見込について
3. 企画委員会報告について
4. 役員賠償責任保険への加入について
5. 第11回理事会の開催日の確認について
6. その他

（2）評議員会

第6回評議員会（平成24年6月25日）

第1号議案「平成23年度 事業報告及び決算」の件

第2号議案「評議員1名の選任」の件

第3号議案「理事選任」の件

第4号議案「監事選任」の件

報告事項 1. 理事会決議事項 「資産運用基本方針」について
2. その他

第7回評議員会（平成25年3月22日）

- 報告事項
1. 第10回理事会について
 2. 平成24年度の事業経過報告・代表理事の職務執行報告について
 3. 平成24年度収支決算見込について
 4. 企画委員会報告について
 5. 「平成25年度事業計画・予算」について
 6. 「ポートフォリオ運用の解約と定期預金の一部解約及び基本財産への繰り入れ」の件
 7. 役員賠償責任保険への加入について
 8. 第8回評議員会の開催日の確認について
 9. その他

(3) 監査

実施日： 平成24年5月30日

内 容： 平成23年度（平成23年4月1日～平成24年3月31日）会計監査・業務監査

II. 財務

1. 資産運用及び管理に関する業務

〈平成24年度の主な資産運用について〉

・平成24年6月4日

「本田技研工業株式会社 第11回無担保社債(0.759%)」の償還にともない、「韓国輸出入銀行(1.05%)」の購入(1億円)。

・平成24年7月24日

「スウェーデン輸出信用銀行(SEK)豪ドルパワーリバースコール3711(仕組債)」の償還にともない、「ロイズTSB銀行(仕組債 初年度2.7%)」の購入(1億円)。

・平成24年10月25日

「Aphex Capital public limited company(債券発行のためにアイルラン

ドに設立された特別目的会社) (Bank of Korea のリパッケージ債) (0.75%)」の償還にともない、「オーストリア・コモンウェルス銀行(CBA・リバースフローター債) (仕組債 初年度 1.65%)」の購入 (1 億円)。

・平成 24 年 12 月 20 日

「オーストラリア・コモンウェルス銀行(CBA5 年)第 1 回円貨社債 (1.65%)」の償還にともない、「オランダ治水金融公庫 (1.8%)」の購入 (1 億円)

・平成 25 年 3 月 8 日

「第 501 回東京電力債 (0.92%)」の償還にともない、「SMBC 日興証券株式会社 (早期償還条項付リバースフローター債 (仕組債 初年度 2%)」の購入 (1 億円)。

・平成 25 年 3 月 28 日

ポートフォリオ運用の解約金、普通預金、及び定期預金の資金を利用して「BNP Paribas リバースフローター債 (仕組債 当初 5 年間 1.8%)」の購入 (1 億円)。

2. 寄付の状況

ア. 受付件数 8件
イ. 受付金額 29,025,304円

3. 事務局人員構成 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

常勤	野口 陽一	専務理事
	高谷 忠嗣	事務局長
	大友 伸洋	総務主査・助成担当
	片桐 光代	総務部総務担当
	仲野 省吾	南アジアプログラム・プログラムコーディネーター
非常勤	中島 由佳	事業開発担当

以上